

【2026 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ホスピタリティコミュニケーション		選択必修	1	1.2	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
前川 真奈美	B304	manami.maekawa	木曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;建学の精神「豊かな人間性」と「開かれた共創力」を社会で実践するために、おもてなしの心をもって丁寧かつ親切に接する接遇技術を学び、体験する。これにより、自己と他者・社会の幸福に寄与できる基礎的な力を身につけることを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;本授業では、おもてなしの心にもとづく接遇技術について、相手の様子や状況を観察し、相手が求めていることを仮説として捉え、言葉や行動として具体的に表現するプロセス（観察→仮説→実践→検証）を段階的に扱う。各回のワークやその振り返りを通して、実生活に活かせる実践的なコミュニケーション力の習得を目指す。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	<p>体験的な活動を通して、自分なりの気づきを得ることを重視する。受け身的に参加するのではなく、主体的に考え、積極的に取り組んでほしい。</p> <p>講義内容に関する疑問が生じた場合にはそのままにせず、講義中の質問やリアクションペーパー、オフィスアワー等を活用し、理解を深めてほしい。</p>				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	講義中に適時紹介する。				
外部教材	講義中に適時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ホスピタリティの意味とその理論的背景を自身の行動に活かすことができる。			HSU(1)、(2)、HC (1)、(3)、(5)	
②	ホスピタリティコミュニケーションのスキルを知り、実際に表現することができる。			HSU (4)、(5)、HC (2)、(6)	
③					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	ホスピタリティのコツ:スタート編 -おもてなしは、サービス業だけの話じゃありません!	講義・演習	講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。	2	
2	ホスピタリティのコツ:観察編① (外側) -あれ、意外と見えていない…?	講義・演習	講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。	4	
3	ホスピタリティのコツ:観察編② (内側) -その言葉、本当は何を意味している?	講義・演習	講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。	4	
4	ホスピタリティのコツ:仮説づくり編 -観察したヒントから、どんな“かもしれない”を導く?	講義・演習	講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。	4	
5	ホスピタリティのコツ:実践・検証編① (モノ) -相手が喜ぶ〇〇を見抜けるか?	講義・演習	講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。	4	
6	ホスピタリティのコツ:実践・検証編② (言葉) -その一言、相手に刺さる?刺さらない?	講義・演習	講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。	4	
7	ホスピタリティのコツ:実践・検証編③ -仮説をもとに、〇〇が喜ぶ贈り物を考案せよ!	講義・演習	講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。	4	
8	ホスピタリティのコツ:実践・検証編④ -贈り物プレゼン大会!その提案は相手の心に届くか?!	プレゼンテーション	講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。	4	
試	/				

【2026 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	30	0	70	
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	5	5
	思考・推論・創造する力	0	0	15	0	15	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	5	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	35	45
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	第 8 回の課題である「贈り物プレゼン大会」では、相手に関する観察とそこから導いた仮説の妥当性、提案内容とその理由の整合性を総合的に評価する (30 点満点)。 なお、提案に対する相手の評価は成績評価に含めず、観察や仮説の形成を含む思考過程を重視して評価する。				Teams を利用して、個別にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	各回講義後に、Teams の課題機能を用いてリアクションペーパーの提出を求める。講義内容に関する考察や気づきが具体的に記述されているかを評価する (全 8 回、各 5 点満点で計 40 点満点)。 授業内ワークへの取り組み姿勢を総合的に評価する (30 点満点)。				リアクションペーパーについては、締め切り後、評価点を付して返却する。 取り組み姿勢については、講義中にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	該当なし						
実践的授業の内容	該当なし						
そ の 他	本科目では、科目の特性上、生成 AI の利用自体は禁止しない。ただし、自らの思考が求められる課題 (授業内ワーク、リアクションペーパー等) において、生成 AI の出力結果を未加工のまま使用することは認めない。必要に応じて参考として活用することは可能であるが、自分の考えとの違いや根拠を踏まえて用いること。これに反した場合は、評価の対象外とする。						